Polycom

OWNERS MANUAL

ユーザーマニュアル

사용 설명서

РУКОВОДСТВО ПОЛЬЗОВАТЕЛЯ

MANUAL DEL PROPIETARIO

使用手冊

用户手册

42” LCD/LED DISPLAY

42インチLCD/LED ディスプレイ

42” LCD/LED 디스플레이

ЖК/СД-ТЕЛЕВИЗОР С ДИАГОНАЛЬЮ 42"

MONITOR LCD/LED 42”

42 吋液晶/LED 顯示器

42 吋液晶/LED 显示器

目次

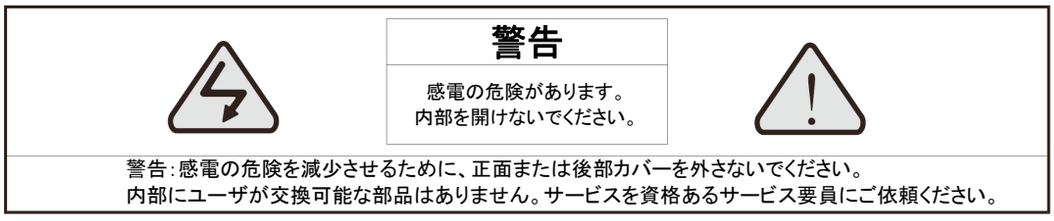
1 **重要な安全指示** 3
- 特記事項 3
- 警告および注意 3
- 清掃およびメンテナンス 4
- 規制に関する通知 4

2 **概要** 6
- 付属品の確認 6
- フロントパネル調節 6
- 電池の取り付け 6
- 後部パネル接続 7
- リモートコントロールのボタン 8
- 入力の変更 9
- OSD メニューの使用 9
- オンスクリーン状態表示 9

3 **設置方法** 10
- POLYCOM ビデオ会議システムへの接続 10
- ビデオデッキへの接続 10
- DVD への接続 10
- セットトップ・ボックスの接続 11
- 外部アンプとの接続 12
- アンプ付き外部スピーカーの接続 12
- PC の接続 12
- 使用可能な解像度 14

4 **メニューシステム** 15
- 画像の調整 15
- 様々な画像コントロール設定の説明 15
- RGB モードでの微調整 16
- ワイドスクリーンモードの説明 17
- サウンド設定の調節 17
- 様々なサウンドコントロール設定の説明 17
- システムの調節 18
- 各種システム設定の説明 18

5 **付加情報** 20
- トラブルシューティング 20
- 仕様 21
- コンポーネント向けのタイミング 22
- RS-232 接続 25
- コマンド形式と順序 25
- 寸法図 27
- カラースキーム 27
- 包装仕様図 28



三角形の中に矢のある電光は、製品中の部品に感電の危険があることをユーザに知らせることを目的としています。

三角形の中の感嘆符は、ユーザに重要な動作およびサービスに関する指示が説明されていることを目的としています。

特記事項

プログラムによっては著作権で保護されている場合があり、全体または一部を未許可でレコーディングすると米国またはカナダの著作権法に抵触する可能性があります。

FCC/CSA 規定は本ディスプレイに対する何らかの未許可の改造により、ユーザがこれを操作する権限が無効になる可能性を定めています。

警告および注意

- この取扱説明書をお読みになり、保管してください。
- すべての指示に従ってください。
- すべての警告に注意を払ってください。
- ラベルに示された電源のタイプのみご使用ください。利用可能な電力のタイプが不明なら、ディーラまたは地元の電力会社にご相談ください。
- 水のある付近でこの機器を使わないでください。
- 清掃には乾いた布のみお使いください。
- いずれの換気孔も塞がないでください。製造元の指示に従ってインストールします。
- ラジエータ等のいずれの熱源の近くに設置しないでください、蓄熱器、ストーブ、その他装置(アンプを含む)は熱を発生します。
- 極性付きまたは接地タイプの安全設計を変更しないでください。極性付きプラグは 2 つのブレードのうち一方が他より幅広になっています。接地タイププラグは 2 つのブレードと 3 番目の接地端子を持っています。幅広ブレードまたは 3 番目の端子は安全のために提供されています。提供されたプラグがコンセントに適合しない場合、コンセントの交換工事は電気工事士に依頼してください。
- 電源コードは、特にプラグ、コンセント、装置からの出口部分を踏んだり挟んだりしないよう保護してください。
- 製造元によって指定された付属装置/付属品のみをお使いください。
- ディスプレイは安定した机に置いてください。壁マウントブラケットを使用する際は、転倒によるケガを防止するため、ディスプレイが壁マウントに確実に固定されていることを確認してください。
- 製造元の指定または装置と共に販売されるカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルをご使用ください。カート使用の際には、転倒による危害を避けるためにカートと装置の移動には十分ご注意ください。
- 雷雨時または長期間使用しない時、装置のプラグを抜いてください。
- すべてのサービスは資格あるサービス要員にご依頼ください。機器は、電源コードまたはプラグの損傷、液体がこぼれた時、物が機器内部に入った時、機器が雨または湿気にさらされた場合、また正常に動作しないか、落下した時に修理が必要とされます。
- 壁付けコンセントや延長コードに過負荷をかけないでください。火災または感電の危険があります。
- パネルをたたかないでください。パネルが壊れた場合に、壊れたガラス片によってケガをしないようご注意ください。
- ディスプレイ装置は必ず、製造元によって勧められた設置の指示に従って設置してください。
- サービスまたは保守の完了時には、ディスプレイ装置が適切な動作状態にあることを確認するため、サービス専門要員による安全点検を受けてください。
- このディスプレイ装置の動作環境温度は 0°C から 40°C までの間です。推奨された範囲外の操作は製品の故障の原因となります。

- 以下の状況では、機器を主電源から切り離し、修理を資格あるサービス要員にご依頼ください。
  - 電源コードまたはプラグが破損するか、摩耗した場合。
  - 液体が製品上にこぼれた、または機器が水または湿気にさらされた場合。
  - 操作手順に従わないと、機器は正常に動作しません。操作手順にある範囲の部分だけを調整してください。その他の部分の不適切な調整は損傷を生じる可能性がありますので、機器を通常動作に復元するには資格ある専門要員によって実行されることが必要です。
  - 機器が落下またはテレビ台に損傷がある場合。
  - 機器の動作が明らかに変化して、修理の必要があることを示す場合。
- ユーザーは装置に付属のマウント装置および方法、または耐荷重 33.4 kg の UL 認証付きマウントブラケットや同等の器具を使用する必要があります。

清掃およびメンテナンス

清掃の前に、コンセントへの接続を外してください。液状またはスプレー式のクリーナーは使わないでください。

清掃には、少し湿気を帯びた布のみを使います。

規制に関する通知

CE 規定

当製品上の CE ラベルは、製品が電磁整合性の 89/336/EEC 指示に従い、2006/95/EEC 低電圧指示の中で定義される安全性に準拠することを示しています。

当製品は、他の電子装置が公的基準に従う場合、その干渉から保護されます。ただし、一時的な干渉は生じる可能性があります。

FCC 規定

連邦通信委員会の無線周波数干渉声明には下記の警告が含まれています。

本装置は検査の結果、FCC 規定 15 条によるクラス B デジタル機器の条件に準拠します。この条件は住居環境での使用時の電波障害を防止するものです。

当装置は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、利用するものであり、これを放射する可能性もあります。取扱い指示に従って設置および利用しない場合、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置方法において電波障害が発生しないという保証はありません。本装置によるラジオやテレビ放送の受信障害(装置の電源を on や off にして確認)が生じた場合、下記にある一つまたは複数の手順により、補正を試みて下さい。

- 受信アンテナの方向を変えるか位置を変える。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機に使用しているコンセントとは別の回路のコンセントに装置を接続する。
- 助けが必要な場合は、ディーラーまたは資格あるラジオ/ディスプレイ技術者にご相談ください。

警告

ユーザは、製品が FCC に準拠する状態を保つよう、シールドケーブルを使う必要があります。IEC320 形式の端子を持つ分離可能な電源コードがこのディスプレイに付属しています。 それは同様な仕様の UL 承認のパーソナルコンピュータとの接続に適合します。

接続の前に、コンピュータ内蔵コンセントの電圧定格がモニタと同じで、コンセントの電流(A)の定格がモニタ定格と同じまたは越えていることを確かめてください。 120 ボルトの使用では、NEMA 規格 5-15P タイプ(並列のブレード)プラグキャップ付きの UL 承認の取り外し式電源コードのみをご使用ください。 240 ボルトの使用では、NEMA 規格 6015p タイプ(タンデムブレード)差込プラグによって分離できる UL 承認の電源コードのみをご使用ください。

IC 準拠の注意事項

このクラス B デジタル機器は ICES-003 のカナダ干渉発生装置規定のすべての必要条件を満たしています。

ROHS 準拠の声明

このユーザーマニュアルに記載されたディスプレイは RoHS に 100%準拠しており、欧州連合 Directive 2011/65/EU、電気電子機器における特定の危険物質の使用の制限に記述された要求事項のすべてを満たしています。

使用済み製品の処理に関する情報

使用済み電気および電子機器は個々に扱われる必要があり、これら機器に対する適切な取り扱い、修復およびリサイクルに関する規定に従うべきです。 このバツ印の車輪付きゴミ箱マークが製品に付いているとき、製品は European Directive 2002/96/EC に準拠していることを意味しています。この製品の廃棄を望む場合、地方官庁に連絡し、正しい処理方法をお尋ねください。使用済み製品の正しい処理は環境と人の健康に潜在的な害を及ぼす結果を防止するのに役立ちます。

注意：この装置を処分する際は、通常のゴミ箱に入れないでください！

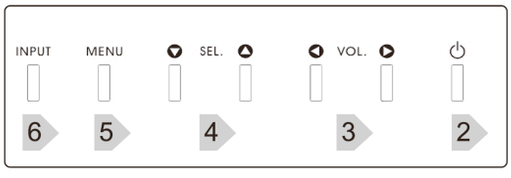
付属品の確認

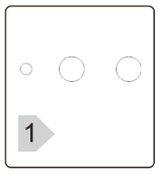
LCD ディスプレイ

電池付きリモコン

ユーザマニュアル

フロントパネル調節





1 ステータス LED
オレンジ－スタンバイ状態
主電源コードが本体の後部に差し込まれ、ディスプレイがスタンバイモードであるならば、LED はオレンジに点灯します。
グリーンで点灯－電源オン

2 電源(スタンバイ)ボタン
スタンバイモードから電源をオンにします。
オン/スタンバイサイクルの間には待ち時間があります。

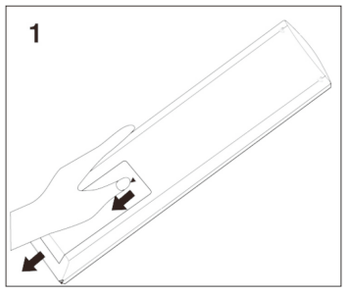
3 音量の調節ボタン
音量を調節するには、これらボタンを使います。また、オンスクリーンメニューでの項目選択および設定の機能も果たします。

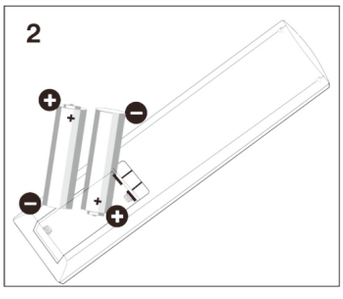
4 選択ボタン
オンスクリーンメニューの項目を選択するには、これらのボタンを使います。

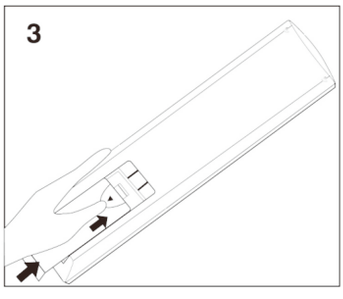
5 メニューボタン
オンスクリーンメニューを表示するのに、このボタンを使います。

6 入力ボタン
使用可能な入力の間で切り替えるにはこのボタンを使います。

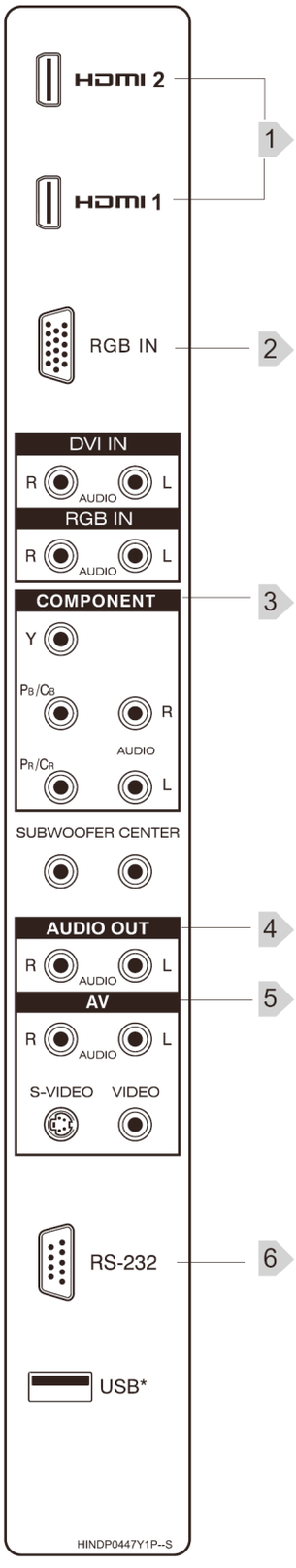
電池の取り付け







後部パネル接続



1 **HDMI 1/HDMI 2 入力**
セットトップ・ボックスまたは PC のビデオコネクタからのデジタル・ビデオ信号に接続します。

注:

- HDMI 1 には、Polycom 装置の使用に最適化された、Polycom のデフォルト設定が含まれます。
- DVI も HDMI を通じてサポートされます(DVI-to-HDMI アダプタケーブル使用)。DVI オーディオは DVI オーディオ入力ジャックを使用してサポートされます。

2 **RGB 入力**
コンピュータまたはセットトップ・ボックスの RGB 入力に接続します。

3 **コンポーネントビデオ入力**
テレビ会議システム、DVD プレーヤーまたはセットトップ・ボックスのコンポーネント出力に接続されたコンポーネントビデオ入力信号(Y/Pb/Pr または Y/Cb/Cr)を自動検出します。

4 **オーディオ出力**
外部のオーディオアンプに接続するための可変または固定されたオーディオ出力ジャック。

5 **コンポジット/S ビデオ入力**
ビデオデッキ、DVD プレーヤーまたはビデオカメラなどの外部ソースからの S ビデオ信号を接続します。

6 **RS-232 コネクタ**
コンピュータのシリアルポートに接続します。

* HDMI、HDMI ロゴおよびハイデフィニション・マルチメディアインタフェースは、HDMI ライセンス元の LLC の商標または登録商標です。

* USB ポートはアフターサービス/エンジニア使用向けにのみ提供されます。

リモートコントロールのボタン

1 **スタンバイ電源オン・オフ**
このボタンを押すと、スタンバイモードからディスプレイの電源がオンになります。再度押すと、スタンバイモードに戻ります。

2 **POLYCON モード**
このキーを押して、POLYCOMカンファレンス性能に最適なデフォルト オーディオ&ビデオ設定を呼び出します。

3 **数字キーパッド**
これらのキーは当ディスプレイでは使用しません。

4 **クイックビュー**
このキーは当ディスプレイでは使用しません。

5 **ワイド**
アスペクト比の設定を切り替えます。

6 **メニュー**
OSD (オンスクリーンディスプレイ)メニューに入ります。

7 **音量+/-**
音量を上げるか、下げます。(オプションのサイドマウント式スピーカーまたは外部アンプ付きスピーカーをディスプレイに直接接続した場合にのみ当てはまります。)

8 **選択/調節**
選択ボタンで上／下に、調節ボタンでオンスクリーンディスプレイメニューを上/下に移動します。

9 **EXIT (終了)**
Exit (終了)ボタンを押すと、OSD (オンスクリーンディスプレイ)メニュー画面が閉じます。

10 **直接入力選択キー**
入力信号モードを直接変更します。

11 **入力選択**
これを押すと、入力信号モードが順番に切り替わります。

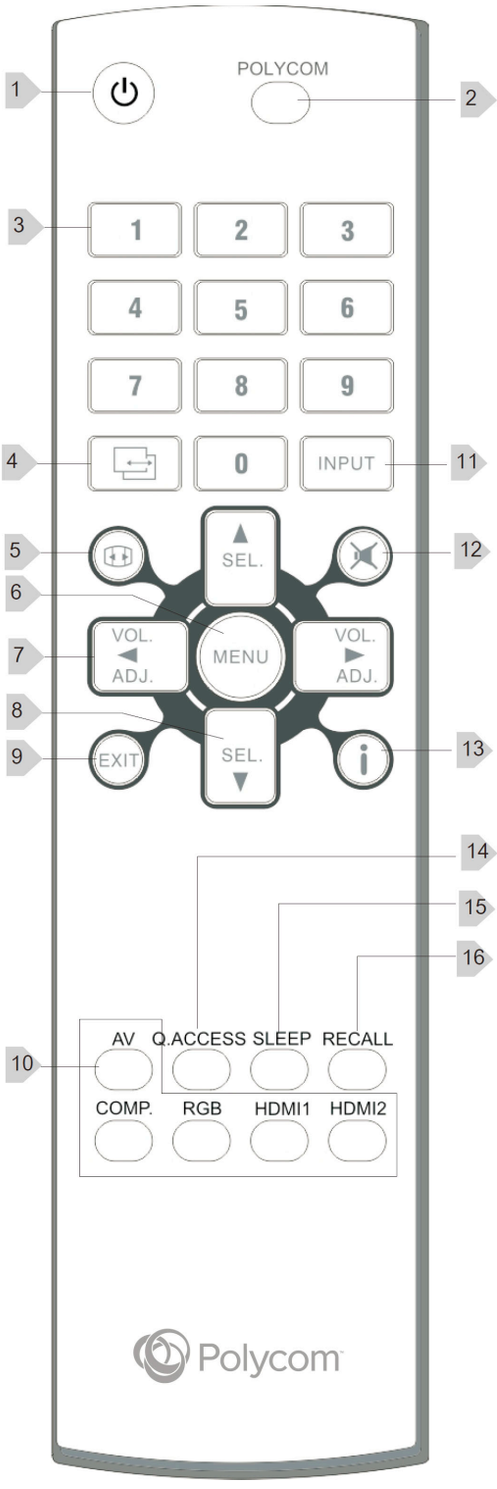
12 **音声のミュート、オン・オフ**
音声を消すか、復元します。(オプションのサイドマウント式スピーカーまたは外部アンプ付きスピーカーをディスプレイに直接接続した場合にのみ当てはまります。)

13 **情報**
ディスプレイの情報を示すのに押します。

14 **Q.Access (クイックアクセス)**
このキーは当ディスプレイでは使用しません。

15 **スリープ**
このキーを押すとスリープタイマー選択に直接入ります。

16 **リコール**
デフォルト設定を呼び出します。



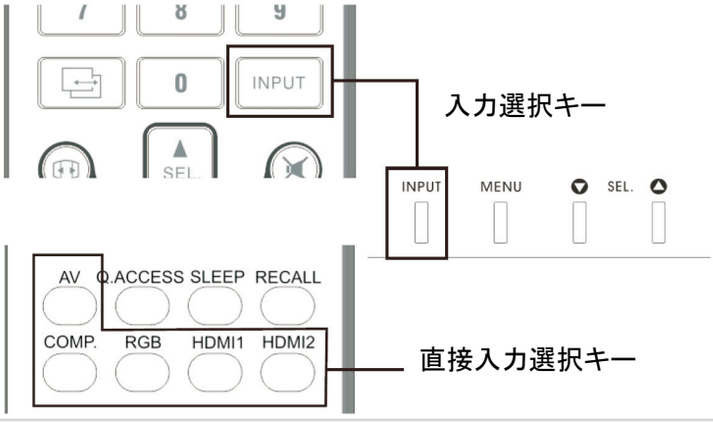
入力の変更

1 コントロールパネル上の INPUT (入力)キーまたはリモコン上の「Input」キーを押します。

2 入力キーを押すと、以下の順序で使用可能な入力信号ソースが表示されます。

AV → S-VIDEO → コンポーネント → RGB → HDMI → HDMI

切り換えたい入力方式を選んでください。

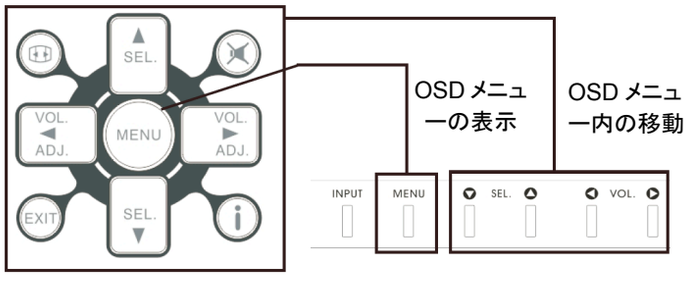


OSD メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューから、このディスプレイの様々なパラメータが設定できます。

1 OSD メニューを表示するには、フロントコントロールパネル上の MENU (メニュー)ボタンを押すか、リモコン上の「Menu」キーを押します。

2 OSD メニュー内の移動は、リモコンの方向キーを使って行えます。



注:

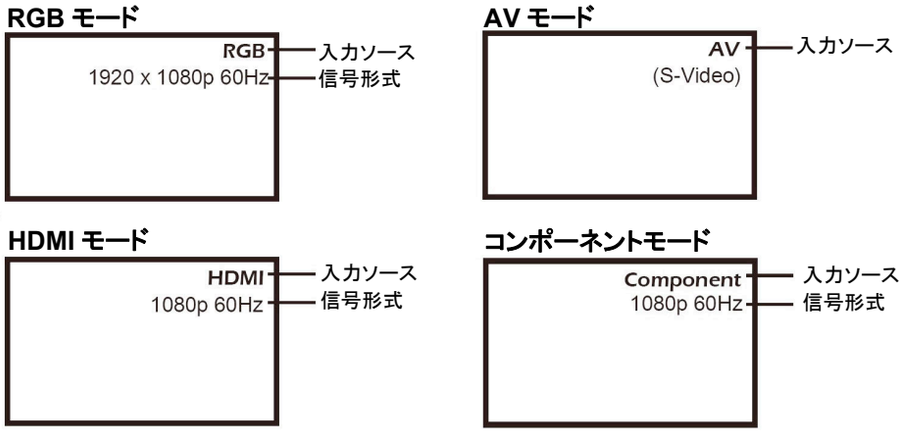
OSD メニューで設定を変更した後は、OSD 画面が消えた時点で新しい設定が自動的に確定されます。

オンスクリーン状態表示

オンスクリーン状態表示では、ディスプレイの作動状態について詳細情報が示されます。入力切り替えなど、ディスプレイの状態に変化がある時はいつでも、状態表示は自動的に現れます。状態表示はタイムアウト期間後に自動的に消えます。

手動で情報表示を示すには、リモコンにおいて ⓘ キーを押します。

以下が例です。



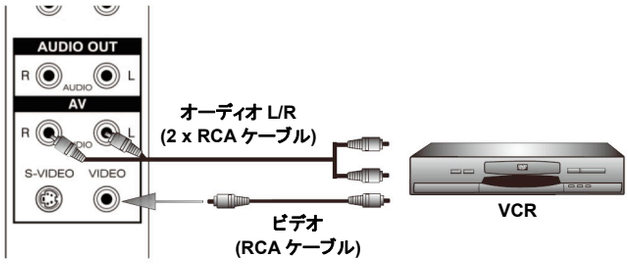
POLYCOM ビデオ会議システムへの接続

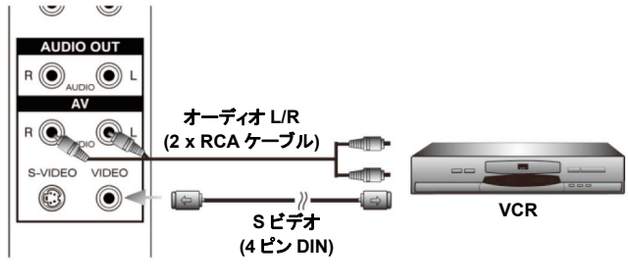
モニタとオーディオシステムを構成して最適性能を得るには、POLYCOM ビデオ会議システムに付属のアドミニストレータガイドをご参照ください。

ビデオデッキへの接続

コンポジット/ S-Video の使用

1. VCR のコンポジット/S-Video (4 ピン DIN)コネクタをディスプレイの後部のコンポジット/S-Video 入力に接続します。
2. VCR の赤(R)と白(L)のオーディオプラグをディスプレイ後部に隣接する赤(R)と白(L)のオーディオ入力ジャックに接続します。

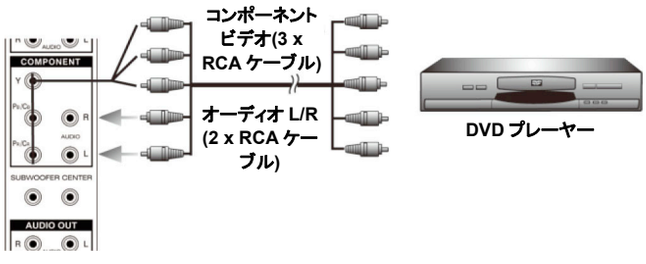




DVD への接続

コンポーネントビデオ入力の使用

1. DVD からのグリーンの(Y のラベル)プラグをディスプレイのグリーンのジャックに接続します。
2. DVD からの赤の(P_R/C_R のラベル)プラグをディスプレイの赤の P_R/C_R ジャックに接続します。
3. DVD からの青の(P_B/C_B のラベル)プラグをディスプレイの青の P_B/C_B ジャックに接続します。
4. DVD からの赤(R)と白(L)オーディオプラグをディスプレイの P_R/C_R コネクタの隣にある R および L オーディオ入力ジャックに接続します。



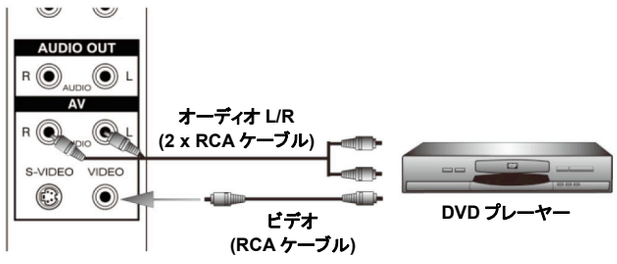
DVD の接続(つづき)

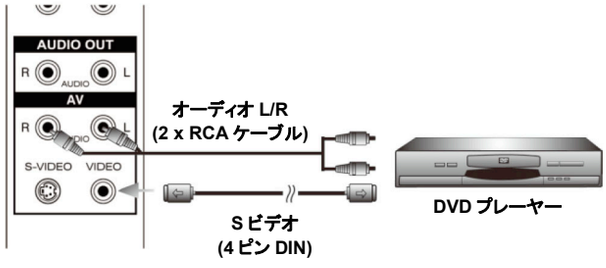
コンポジット/S-Video 入力の使用

1 DVD のコンポジット/S-Video (4 ピン DIN)コネクタをディスプレイの後部のコンポジット/S-Video 入力に接続します。

2 DVD からの赤(R)と白(L)オーディオジャックを S-Video コネクタの隣の(R)と(L)オーディオ入力ジャックに接続します。

3 コンポジットと S-Video が両方接続された時、S-Video がより高い優先度を持ちます。





セットトップ・ボックスの接続

HDMI 入力の使用

1 セットトップ・ボックスの後部からの HDMI コネクタをディスプレイ後部に位置した HDMI コネクタを接続します。

ます。

注:

1 セットトップ・ボックスによっては HDMI 出力を持たないものもあります。この場合、コンポーネントビデオまたは RGB の入力方式をお使いください。

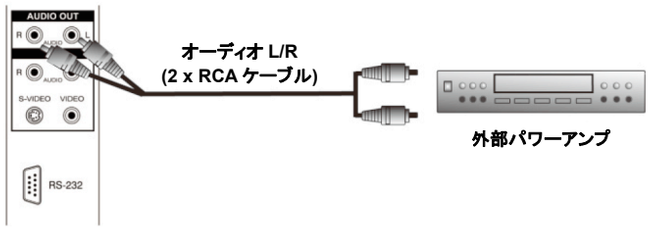
2 セットトップ・ボックスをディスプレイの HDMI 入力に接続するとすぐに、ディスプレイ上の様々な画像設定の調整や、セットトップ・ボックスの出力を適合させることが必要となる場合があります。これは様々なセットトップ・ボックス製造元によって異なるビデオタイミングが設定されることによって生じます。

3 外部装置が DVI 出力のみを備えている場合、HDMI 端子と接続するためには DVI -HDMI ケーブルを使います。

外部アンプの接続

1 当ディスプレイは、ディスプレイ後部に装備された AUDIO OUT ジャックを使って、外部アンプに接続できます。

2 コネクタパネルの右側にある赤(R)、白(L) AUDIO OUT ジャックから外部アンプに接続します。

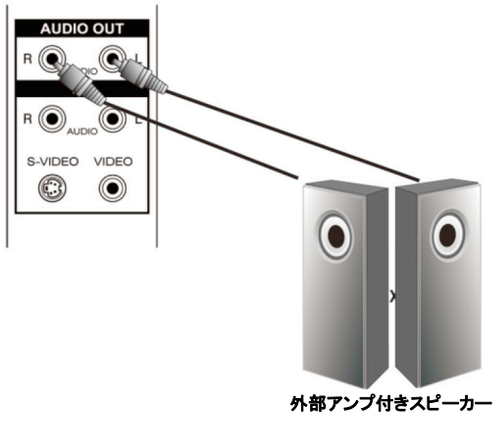


注:

1 AUDIO OUT RCA ジャックは固定または可変のオーディオ出力レベルに設定できます。

アンプ付き外部スピーカーの接続

1 コネクタパネルの右側にある赤(R)、白(L) AUDIO OUTジャックから対応する左右のアンプ付きスピーカーに接続します。

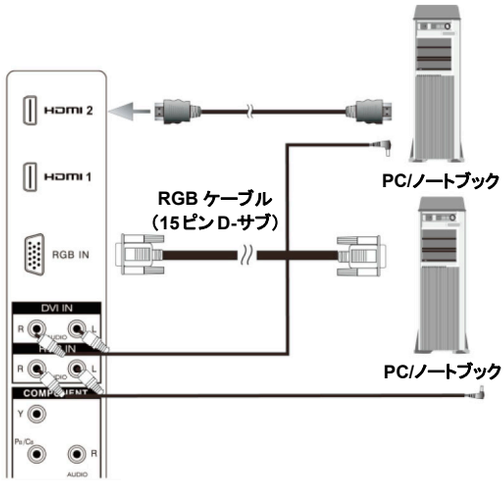


PC の接続

RGB または HDMI ビデオ入力の使用

1 ほとんどの PC では、PC 後部の 15 ピン D-sub RGB コネクタからディスプレイ後部の RGB-IN コネクタへ接続します。

2 PC からの赤(R)と白(L)オーディオジャックを RGB コネクタの隣に位置した R と L ジャックに接続します。



PC の接続(つづき)

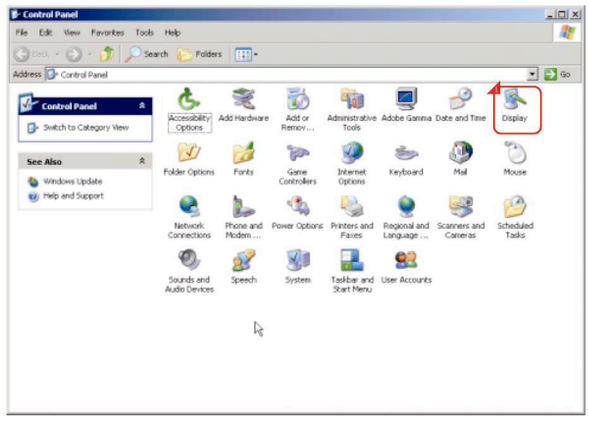
プラグアンドプレイによるディスプレイの設定

当ディスプレイはVESAプラグアンドプレイ規格準拠なので、ディスプレイ上の複雑で、時間のかかるセットアップは不要です。当ディスプレイはコンピュータに識別され、ディスプレイデータチャンネル(DDC)プロトコルを使って、拡張ディスプレイ識別名(EDID)を PC に自動的に送信します。

ご使用のディスプレイを PC 用に設定するする方法(Windows)

典型的な Windows ベースのコンピュータのためのディスプレイ設定方法が以下に示されています。ただし、ご使用のコンピュータの実際の画面は、コンピュータにインストールされた Windows のバージョンおよびビデオカードによって異なります。実際の画面が下に示された例と違う外見でも、基本的な設定手順はほとんどの場合にあてはまります。

1 スタート、設定、コントロールパネルとクリックして、Windows のコントロールパネルを表示させます。コントロールパネルのウィンドウから画面アイコンを選びます。

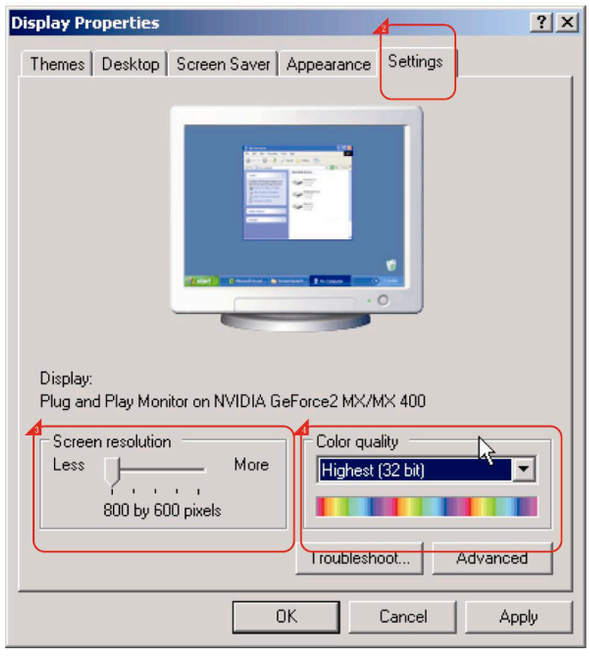


2 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。設定タブを選んで、ご使用のコンピュータの映像出力設定を表示させます。

3 「スクリーン解像度」設定を 1920 x 1080 ピクセルに設定します。「画面の色」には、24 ビットカラー(または 1600 万色)を選びます。

4 垂直周波数のオプションがある場合、その値を 60Hz に設定します。

5 OK をクリックすると、設定は完了です。



注:

1 スクリーン位置およびサイズは、PC グラフィックカードのタイプと指定された解像度によって異なります。

使用可能な解像度

HDMI、DVI、RGB モードでは、このディスプレイは次の解像度をサポートします:

モード No.	モード	解像度	水平周波数 (KHz) +/- 0.5KHz	垂直周波数 (Hz) +/- 1Hz	ドットレート極性 (MHz)	V-Sync 極性 (TTL)	V-Sync (TTL)
1	VGA	640 x 480@60Hz	31.469	59.940	25.175	-	-
2	DOS	720 x 400@70Hz	31.469	70.087	28.320	+	-
3	SVGA	800 x 600@60Hz	37.879	60.317	40.000	+	+
4	XGA	1024 x 768@60Hz	48.364	60.004	65.000	-	-
5	SXGA	1280 x 1024@60Hz	63.981	60.020	108.00	+	+
6		1360 x 768@60Hz	47.712	60.015	85.500	+	+
7	*	720 x 480i@60Hz	15.734	59.940	27.000	-	-
8	*	720 x 576i@50Hz	15.625	50.000	13.500	-	-
9	*	720 x 480p@60Hz	31.469	59.940	27.000	-	-
10	*	720 x 576p@50Hz	31.250	50.000	27.000	-	-
11		1280 x 720p@60Hz	45.000	60.000	74.250	+	+
12		1280 x 720p@59Hz	44.955	59.940	74.176	+	+
13		1280 x 720p@50Hz	37.500	50.000	74.250	+	+
14		1920 x 1080i@60Hz	33.750	60.000	74.250	+	+
15		1920 x 1080i@59Hz	33.716	59.940	74.176	+	+
16		1920 x 1080i@50Hz	28.125	50.000	74.250	+	+
17		1920 x 1080p@24Hz	27.000	24.000	74.250	+	+
18		1920 x 1080p@25Hz	28.125	25.000	74.250	+	+
19		1920 x 1080p@30Hz	33.750	30.000	74.250	+	+
20		1920 x 1080p@50Hz	56.250	50.000	148.500	+	+
21		1920 x 1080p@59Hz	67.433	59.940	148.352	+	+
22		1920 x 1080p@60Hz	67.500	60.000	148.500	+	+

注:

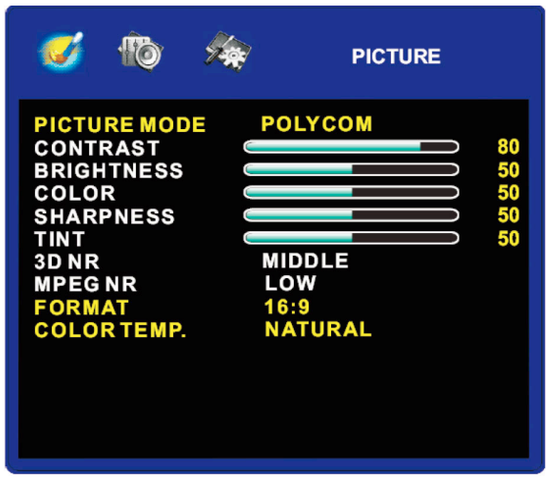
1 当ディスプレイはマッキントッシュ解像度をサポートしていません。

2 「*」: RGB モードでは無効です。

画像の調整

1 フロントパネルまたはリモコン上の「Menu」、および「Down」キーを押して Picture (画像)メニューに入ります。「Up/Down」を使ってメニューから画像オプションを選びます。

2 様々な画像設定が画像メニューから使用可能です。「Left/Right」を使用してお好みの調節を行い、「Exit」キーを押して選択を確定します。



様々な画像コントロール設定の説明

PICTURE MODE (画像モード)

ご覧になるプログラムのタイプに従って、ビデオ画像を最適化するのに選択可能な４つのプリセット画像モードがあります。(1)POLYCOM;(2)ユーザー;(3)シネマ; (4)ビビッド。

注:

ピクチャモードのデフォルト設定は「POLYCOM」に設定されていることにご注意ください。 この設定はスタンダードモードで、それは全ての映像入力を対象として Polycom テレビ会議システム用に最適化されます。この場合、サブ設定の多くは「グレー表示」され、ユーザーはアクセスできません。 これらの設定の調整をするためには、「カスタム」ピクチャモードを選ぶ必要があります。

CONTRAST (コントラスト)

ビデオ画像の中で「ホワイト」のレベルを増大させるには、コントラストを調整します。コントラストを強めると、ビデオ画像の白い部分がより明るくなります。コントラストは輝度と合わせて効果を出します。

BRIGHTNESS (輝度)

夜の場面や日陰の場面などのビデオ画像の中で暗い部分のレベルを強化するためには、輝度を調整します。輝度を増すと暗い部分がよりはっきり見えます。

COLOR (カラー)

画像の彩度を調整するには、カラーを使います。カラーを増加させると、色がより鮮明になります。カラーを減少させると色があまり鮮明でなくなります。

SHARPNESS (シャープネス)

ビデオ画像でのディテールを鮮明に調整するには、シャープネスを使います。設定を増加させると、ビデオ画像の中で物体のエッジが強調されます。設定を減少させると強調が減少されます。

TINT (色調)

肌の色を調整するのには、色調を使います。色調を増大させると、より赤味を持つ画像となります。左の方向へ設定を減少させと、より緑がかった画像に変化します。

3D NR

受信状態が悪い場合に画像の品質を高めます。

MPEG NR

受信状態が悪い場合に画像の品質を高めます。

様々な画像コントロール設定の説明(つづき)

H-POSITION (水平位置)
画像の水平位置を変更するのに使います。増大させると画像が右に移動します。減少させると画像が左に移動します。

V-POSITION (垂直位置)
画像の垂直位置を変更するのに使います。増大させると画像が上に移動します。減少させると画像が下に移動します。

FORMAT (フォーマット)
様々なスクリーン幅のモードを切り替えるのに使います。選べるのは 3 つのモードです。(1) 16:9、(2) 4:3、(3) パノラマ。

注:

PANORAMA は AV/S-Video モードでのみ有効です。

AUTO ADJUST (自動調節)
RGB モードにおいて映像信号ソースに完全に同期するよう TV を微調整するために、AUTO ADJUST (自動調節)を使います。

COLOR TEMP. (色温度)
白バランス向けの COLOR TEMP. (色温度)を選択します。選べる設定は 3 つです。(1) NORMAL (通常); (2) WARM (暖色); (3) COOL (冷色)。

CLOCK (クロック)
RGB モードにおいて ADC PLL ディバイダークロック比が映像信号ソースに完全に同期するようモニタを微調整するために、クロックを使います。

PHASE (フェーズ)
RGB モードにおいて ADC クロックフェーズが映像信号ソースに完全に同期するようモニターを微調整するために、フェーズを使います。

RGB モードでの微調整

画像品質の調節

様々なPCビデオカードの仕様は異なっているため、ビデオ画像が接続当初にノイズや欠点を持つ場合があります。RGB モードで使用する際、以下の手順で画質を調整してください。

1. フロントパネルまたはリモコンの「Menu」を押します。
2. 「Down」キーを使ってメニューから画像オプションを選びます。
3. 「Up/Down」キーを使ってメニューから AUTO ADJUST (自動調節)オプションを選びます。
4. 「Left/Right」キーを使って、ビデオ画像が最適になるまで設定を変更します。

画像品質の調節ー手動調整

場合によっては、ユーザが手動調整を好むことがあります。手動調整を行うには、次の手順に従ってください。異なる仕様の多様なPCビデオカードが原因で、初期のビデオ画像がディスプレイ寸法に正確にフィットしない場合があります。画像位置を調節するには次の手順に従ってください。

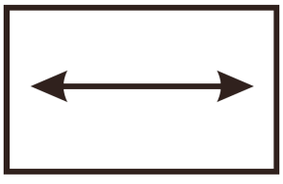
1. フロントパネルまたはリモコンの「Menu」を押します
2. 「Down」キーを使ってメニューから画像オプションを選びます。
3. 「Up/Down」キーを使用してメニューで H-Position (水平位置)または V-Position (垂直位置)を選び、キーを押して選択を確定します。
4. 「Left/Right」キーを使って、ビデオ画像がディスプレイエリア内にうまく収まるまで設定を変更します。

ワイドスクリーンモードの説明

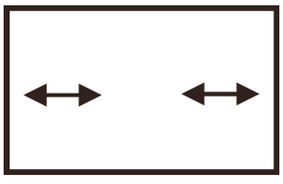
当ディスプレイは、本来 16:9 横縦比スクリーン上にワイドスクリーン像を表示することが可能です。しかし、すべての使用可能なビデオコンテンツがワイドスクリーン(16:9)映像にぴったりフィットするわけではなく、画面に空白が生じることがあります。当ディスプレイは、サイズに依存する様々なタイプのコンテンツに合わせて画像を様々なフォーマットで表示することが可能です。

4:3 (方形)コンテンツ

従来のテレビ、ビデオデッキ、および多少の DVD のコンテンツは、「方形」の 4:3 フォーマットを使って画像が作成されています。この「方形」フォーマットでコンテンツを見るには、下記のモードが適しています。



16:9 (ワイド)
オリジナルの 4:3 画像は、スクリーン全体を満たすよう比例して拡大されます。これが工場出荷時のデフォルト設定です。

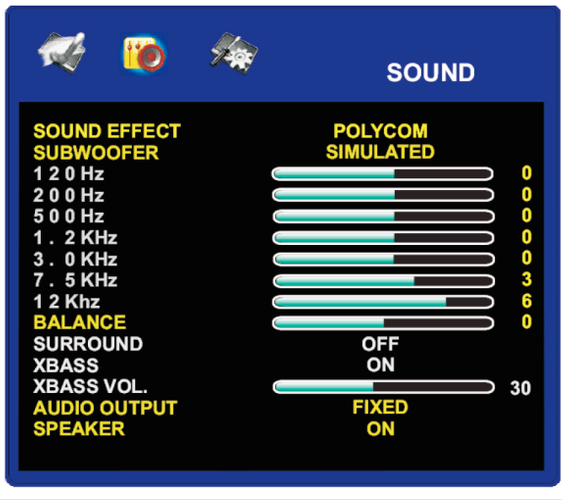


PANORAMA (パノラマ)
オリジナルの 4:3 画像は、画像中心を変えず、スクリーン全体を満たすために左右の側だけ拡大されます。

4:3 (ノーマル)
4:3 モードでは、オリジナルの 4:3 画像は保存されますが、黒いバーが左右のスペースを満たすために使われます。

サウンド設定の調節

1. フロントパネルまたはリモコンの「Menu」キーを押してください。メニューからサウンドオプションを選ぶには、「Down」キーを使います。
2. いろいろなサウンド設定は、サウンドメニューから可能です。 調節したいオプションを選ぶには、「Up/Down」キーを使います。
3. 設定を変えるには、「Left/Right」キーを使います。必要な設定を完了させた後、「Menu」キーを押して OSD を終了させるか、「Left」キーを押して調整を続けます。



様々なサウンドコントロール設定の説明

SOUND EFFECT (音響効果)

4 つのプリセットオーディオのモードが選択できます : POLYCOM、MUSIC (音楽)、MOVIE (映画)、CUSTOM. (カスタム)

SUBWOOFER (サブウーファー)

サブウーファーをアクティブまたはシミュレーション I に設定します。「アクティブ」モードが選ばれると、後部パネル上のサブウーファー入力ジャックへの接続が必要となります。

様々なサウンドコントロール設定の説明

FREQUENCY RESPONSE (周波数レスポンス)

ユーザーは、周波数レスポンスの異なるレベルを 120Hz~12KHz から選ぶことができます。

BALANCE (バランス)

左右のチャンネル間でのバランスレベルを調整します。

SURROUND (サラウンド)

当ディスプレイはサラウンドサウンド回路を装備しています。サラウンドサウンドを使ってサラウンド効果をシミュレーションできます。

X-BASS

サブウーファーをオンにするにはオンを、サブウーファーをオフにするにはオフを指定します。

X-BASS VOL. (X-Bass 音量)

サブウーファーの音量を調節するのに使用します。

AUDIO OUTPUT (オーディオ出力)

ディスプレイ後部に位置するオーディオ出力ジャックから送られるオーディオ出力のタイプを設定します。VARIABLE(可変)に設定すると、オーディオ出力はディスプレイ内蔵の音量コントロールに影響されます。固定(FIXED)を選ぶと、音声出力はディスプレイの内部の音声制御をバイパスして、サブウーファーなどの機能が無効になります。

システムの調節

1. フロントパネルまたはリモコンの「Menu」キーを押してください。メニューからサウンドオプションを選ぶには、「Down」キーを使います。
2. 調節したいオプションを選ぶには、「Up/Down」キーを使います。
3. 設定を変えるには、「Left/Right」キーを使います。必要な設定を完了させた後、「Exit」キーを押して OSD を終了させるか、「Left」キーを押して調整を続けます。
4. S/W バージョンは参考用のみです。実際のバージョンは OSD 表示で示されます。

各種システム設定の説明

SLEEP TIMER (スリープタイマー)

ユーザがスリープタイムオプションを選択すると、ディスプレイはユーザの介在なしに自動的にオフになります。

POWER SAVE (省電力)

ディスプレイがシグナルを検出できない場合、ディスプレイはシグナルが戻るまで自動的にスリープモードに入ります。省電力モード/機能は HDMI/RGB とコンポネント入力オプションで動作します。

各種システム設定の説明

自動節電

自動節電が「オン」にされると、4 時間の無活動（無活動とは、ディスプレイのコントロールボタンまたはリモコンのユーザー操作/有効化を 4 時間しない状態を指します）の後、ディスプレイはオンモードからフルスタンバイモードへ自動的に切り替わります。フルスタンバイモードから、パネルを操作可能に戻すには、ユーザーはパネル上の任意のコントロールボタンを操作するか、ディスプレイ付属のリモコン（テレビ会議システムのリモコンなどではない）を使用します。

自動節電のデフォルト設定は、EU 規制（EC）No642/2009 に準拠して「オン」になっていることにご注意ください。しかし、ビデオ会議アプリケーションの場合、ディスプレイはビデオ入力を検知する能力が必要です。ディスプレイが節電状態に入った場合、ビデオの入力でもディスプレイは活性化されません。自動節電で不便が生じる場合、この機能を無効にするよう「オフ」に設定することをお勧めします。これで、パネルが会議システムから実行中の映像信号を受信すると、即座に自動節電モードが解除され、更なるユーザー操作を必要とせずにディスプレイが復帰するのを確実にします。

トラブルシューティング

下表には起こり得る問題と解決法が列挙されています。サービス担当にご連絡になる前に、この表をご参照ください。

現象	考えられる原因	解決法
画像が表示されません。	1. 電源コードが接続されていません。 2. 指定された入力が接続されていません。 3. ディスプレイは RGB モードのスタンバイモード中です。	1. 電源コードを差し込みます。 2. 指定したデバイスをディスプレイに接続します。 3. キーボード上のキーをどれか押します。
画質や音質に問題があります。	1. 電気器具、車、バイク、または蛍光灯が近くにあるかもしれません。	1. 干渉を減少させるため、ディスプレイを別の位置に移動させます。
色が異常です。	1. 信号ケーブルが適切に接続されていません。	1. 信号ケーブルがディスプレイの裏面パネルに着実に接続されていることを確かめます。
画像が歪んでいます。	1. 信号ケーブルが適切に接続されていません。 2. 入力信号がディスプレイのサポートしないタイプです。	1. 信号ケーブルが着実に接続されていることを確かめます。 2. ビデオの信号ソースが、ディスプレイ(仕様のセクションを参照)によってサポートされていることを確認します。
画面がスクリーン全体に表示されません。	1. VGA モード使用中であれば、フォーマット設定が間違っている可能性があります。	1. 画像メニュー中のフォーマット設定を使って画像のサイズを調整します。
音声のみで画像が表示されません。	1. 信号ケーブルが適切に接続されていません。	1. ビデオ入力とサウンド入力の両方が正しく接続されることを確かめます。
画像のみで音声が出ません。	1. 信号ケーブルが適切に接続されていません。 2. ボリュームが最小になっています。 3. 音声がミュートになっています。	1. ビデオとサウンド入力の両方が正しく接続されることを確かめます。 2. 音声を調整するには、音量の調整ボタンを使います。 3. リモコン上のミュートボタンを使って、ミュートをオフにします。
リモコンボタン操作に反応しません。	1. リモコンの電池が切れたか、極性が間違って装着されています。 2. 選択スイッチの設定が、指定された入力と一致していません。	1. 電池を交換します。その際リモコンを再プログラムする必要があることにご注意ください。 2. 選択スイッチの設定を正しく設定してください。
いくつかのピクセルが点灯しません。	1. ディスプレイのいくつかのピクセルが点灯しないことがあります。	1. 当ディスプレイは、極めて高いレベルの技術で製造されました。しかし、時おりディスプレイのいくつかのピクセルが表示されないこともあります。これは故障ではありません。
電源を切った後に、残像がディスプレイ上に見える場合があります。(静止画の例として、ロゴ、ビデオゲーム、コンピュータ画像、および 4:3 フォーマットで表示された像が含まれます)	1. 静止画が長時間表示されました。	1. 静止画像をあまり長時間表示させたままにしないでください。残像がスクリーン上から消えなくなる場合があります。

仕様

表示パネル

スクリーンサイズ	42” - 16:9
アスペクト比	1920 (水平) x 1080p (垂直)ピクセル
ピクセル数	0.4845 mm x 0. 4845 mm
輝度	350 cd/m^2

電源

入力電圧	100 ~ 240 Vac, 50/60 Hz
入力電流	最大 1.2 A
消費電力	最大 120 W
スタンドバイ	最大 0.50 W

接続

コネクタのタイプ	ビデオコンポジット用 RCA ジャック x 1 セット (S-Video 入力ジャック(4 ピン DIN S 端子) x 1 セット) ビデオコンポーネント RCA 入力ジャック x 1 セット オーディオの L/R 入力ジャック x 4 セット オーディオの L/R 出力ジャック x 1 セット オーディオセンタージャック x 1 セット オーディオサブウーファージャック x 1 セット RGB 用 15 ピン D-SUB x 1 セット 19 ピン D-SUB x 2 セット RS-232 x 1 セット

ビデオ/S-Video 信号

タイプ	アナログ
極性	プラス
振幅	S-VIDEO：Y = 1VP-P (同期時)、C = 0.286Vp-p (NTSC)、
&	C = 0.3Vp-p (PAL)
クロック	H: 15.734 KHz; V: 60 Hz (NTSC)
	H: 15.625 KHz; V: 50 Hz (PAL)
入力インピーダンス	75 ohms

$Y/C_B/C_R$ または $Y/P_B/P_R$ 信号(コンポーネント)

タイプ	アナログ
極性	プラス
振幅	AV：1Vp-p (同期時)、CB/PB：0.7Vp-p、CR/PR：0.7Vp-p
クロック	H：15 K ~ 68 KHz をサポート；V：24 ~ 70 Hz をサポート

RGB 信号

タイプ	TTL
極性	プラスとマイナス
振幅	RGB: 0.7Vp-p
クロック	H：27 K ~ 68 KHz をサポート；V：24 ~ 70 Hz をサポート

HDMI 信号

タイプ	デジタル
極性	プラスとマイナス
クロック	H：15 K ~ 68 KHz をサポート；V：24 ~ 70 Hz をサポート

仕様

オーディオ信号 アナログ 500mV rms/10KΩ 以上

D-SUB コネクタのピン配置図(イン/ループアウト)

1. 赤	4. GND	7. 緑 GND	10. GND	13. H-SYNC
2. 緑	5. GND	8. 青 GND	11. NC	14. V-SYNC
3. 青	6. 赤 GND	9. 5V	12. SDA	15. SCL

19 ピン HDMI コネクタ(デジタルのみ)のピン配置図

1. HDMI_RX2+	8. 接地(+5V 用)	15. RX5VDDC SCL
2. 接地(+5V 用)	9. HDMI_RX0-	16. RX5VDDC SDAt
3. HDMI_RX2-	10. HDMI_RXC+	17. 接地(+5V 用)
4. HDMI_RX1+	11. 接地(+5V 用)	18. IN_5V
5. 接地(+5V 用)	12. HDMI_RXC-	19. RX_HOTPLUG
6. HDMI_RX1-	13. 接続なし	
7. HDMI_RX1+	14.接続	

コンポーネント向けのタイミング

モード No.	解像度	水平周波数 (KHz) +/- 0.5KHz	垂直周波数 (Hz) +/- 1Hz	ドットレート 極性 (MHz)	V-Sync 極性 (TTL)	V-Sync (TTL)
1	720 x 480i@60Hz	15.734	59.940	27.000	-	-
2	720 x 576i@50Hz	15.625	50.000	13.500	-	-
3	720 x 480p@60Hz	31.469	59.940	27.000	-	-
4	720 x 576p@50Hz	31.250	50.000	27.000	-	-
5	1280 x 720p@60Hz	45.000	60.000	74.250	+	+
6	1280 x 720p@59Hz	44.955	59.940	74.176	+	+
7	1280 x 720p@50Hz	37.500	50.000	74.250	+	+
8	1920 x 1080i@60Hz	33.750	60.000	74.250	+	+
9	1920 x 1080i@59Hz	33.716	59.940	74.176	+	+
10	1920 x 1080i@50Hz	28.125	50.000	74.250	+	+
11	1920 x 1080p@24Hz	27.000	24.000	74.250	+	+
12	1920 x 1080p@25Hz	28.125	25.000	74.250	+	+
13	1920 x 1080p@30Hz	33.750	30.000	74.250	+	+
14	1920 x 1080p@50Hz	56.250	50.000	148.500	+	+
15	1920 x 1080p@59Hz	67.433	59.940	148.352	+	+
16	1920 x 1080p@60Hz	67.500	60.000	148.500	+	+

注:

1. 当ディスプレイはマッキントッシュ解像度をサポートしていません。
2. 最大解像度　最大 1920 x 1080p。

仕様

外寸および重量

	ディスプレイブラケット付き
幅	1012mm
高さ	653,7mm
奥行き	160,5mm
正味重量	55.12 lbs/25 Kgs
総重量	68.34 lbs/31 Kgs

取り扱い方法

温度	0~40°C
相対湿度	20~80%
圧力	500~380 mm/hg

非動作時

温度	-20~60°C
相対湿度	10~85%
圧力	500~380 mm/hg

オーディオ

(IHF A-weight、1 メートル)	最大 32 dB

サウンド

残響(最大音量時)	最大 100uW
実質最大音声出力(最大 THD 10%時)	
フロントスピーカー	最大 15W + 15W/4 オーム
サブウーファー	最大 15W + 15W/4 オーム
サウンド歪み(250mw 1 KHz 時)	最大 1%
音声出力(1.4Vp-p 時の入力)	>=1.0Vp-p

信頼度要求

MTBF は 30,000 時間(バックライト)操作環境 25+5℃ (半分の明るさ、映画)

輻射規制

本体は、CB/CE/UL/FCC/VCCI/CCC/BSMI/Gost-R/S-Mark/スプリングマークおよび KC によって認証され、すべてのスクリーンモードにおける EMI 限度に合致します。

仕様

電源管理

モード	H-sync	V-sync	ビデオ	消費電力
ノーマル	パルス	パルス	アクティブ	通常電力
スタンドバイ	パルスなし	パルスなし	ビデオなし	0.5 ワット未満
パワーセーブ	パルス	パルスなし	B (ブランク)	0.5 ワット未満
パワーセーブ	パルスなし	パルス	B (ブランク)	0.5 ワット未満

注:

1. 電源表示 LED は通常グリーンですが、スタンバイおよびパワーセーブモードではオレンジ色に点灯します。
2. このディスプレイは、デフォルトで有効となっている電源管理を備え、また電源オンモードからスリープモードへ自動的に移行するのにも用いられます。

RS-232 接続

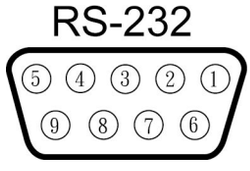
概要

当モニタは、コンピュータ制御による使用のために RS-232 シリアルポートを装備しています。RS-232 シリアルポートは RS-232 インタフェース規格に準拠します。当セクションの中で説明された通信パラメータをサポートできる制御データを送受信するため、コンピュータはソフトウェアアプリケーション(ハイパーターミナルなど)が必要となります。

インタフェースパラメータ

これらパラメータはモニタとのセットアップ通信に必要とされます。

仕様	RS-232	RS-232 ピン配列
同期方法	同期式	ピン 1 受信ライン信号検出(データキャリア検出)
ボーレート	9600 bps	ピン 2 受信データ(RXD)
パリティ	なし	ピン 3 送信データ(TXD)
文字長	8 ビット	ピン 4 データ端末レディ(DTR)
ストップビット	1 ビット	ピン 5 シグナル接地
		ピン 6 データセットレディ(DSR)
		ピン 7 送信リクエスト(RTS)
		ピン 8 クリアトゥーセンド(CTS)
		ピン 9 リング表示



コマンド形式と順序

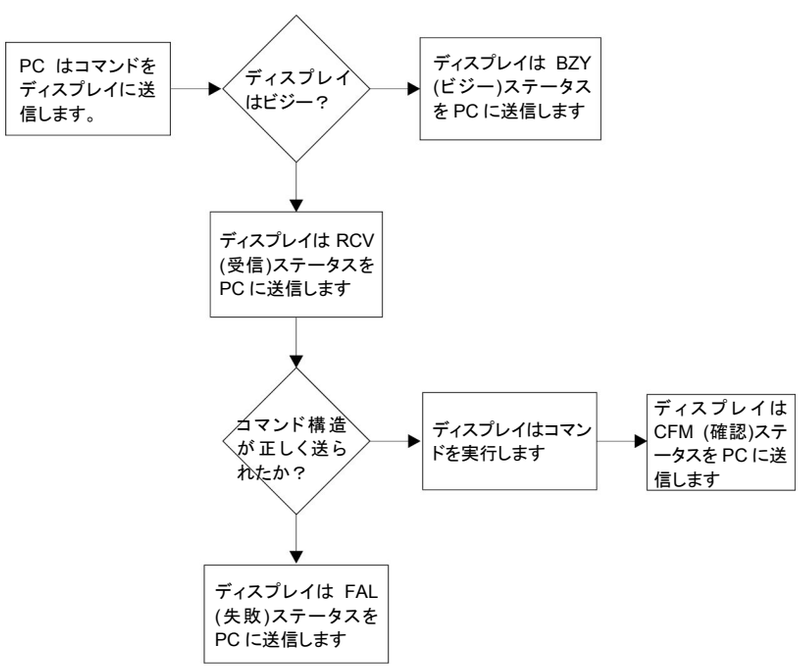
データ構造概要

コンピュータからのデータをディスプレイに送信するために、データは構造化されたフォーマットで送られる必要があります。当ディスプレイによって使われるフォーマットはコマンド:データというシーケンスに従います。コマンド全部とその関連したデータは、コロンによって間が分離された 3 文字の形式でフォーマットされます。例えば、電源オンコマンドは PWR: PON として送られます。ここで PWR はディスプレイに電源関連のコマンドを受け取ると知らせ、実行するための実際のコマンドがそれに続きます。

通信の概要

コマンドが PC から送られる時に、ディスプレイはコマンド実行の状態について PC に返すフィードバックを提供します。本ディスプレイは以下を通知するための情報ステータスを提供します。

1. コンピュータによって送られたコマンドがディスプレイによって受け取られたかどうか。
2. COMMAND:DATA ストラクチャーがディスプレイによる実行のために正しくフォーマットされたかどうか。
3. 送信されたコマンドがディスプレイによって首尾よく実行されたかどうか。



以下は、Hyper Terminal などのプログラムを使っている PC とディスプレイ間での通信プロセスの例です。
例:電源状態のリードに電源オンコマンドが続き、割り込みで入力が AV に指定されます。

コマンド形式と順序

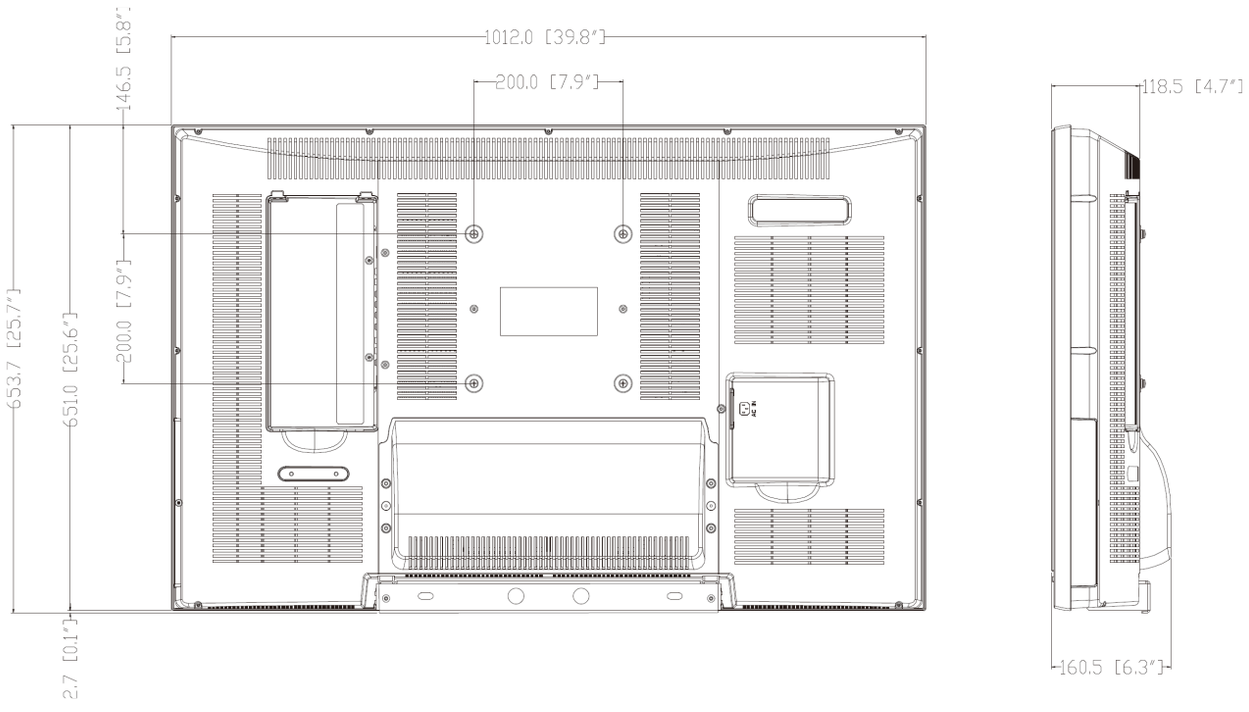
通信の概要

	PC 状態		状態の表示
>REA:PWR Enter	電源状態を読み込むコマンドを送信します	→	ディスプレイ rcv コマンド
>RCV	Rcv コマンド検知を受け取りました	←	PC へのコマンド rcv の送信確認
>OFF	ディスプレイからの Rcv オフ状態	←	電源の実際の状態(オフ)を PC に送信します
>CFM	コマンド完了の Rcv 確認	←	コマンド完了の確認を送ります
>PWR:PON Enter	電源をオンにするコマンドをディスプレイに送信します	→	ディスプレイはビジーでなく、コマンドを待っています
>RCV	Rcv コマンドの検知	←	PC へのコマンド rcv の送信確認
>CFM	コマンド完了の Rcv 確認	←	ディスプレイは電源を入れて、確認を送ります
>INP:AV1 Enter	AV1 入力に切り換えるために、コマンドを送ります	→	ディスプレイは別のタスクでビジーです
>BZY	受信されなかったコマンドの Rcv 検知	←	データを受信できなかったので、ビジー状態と送信します
> Enter	前のコマンドを取り消すために、コマンドを送ります	→	前のコマンドをクリアする Rcv のコマンド
>RCV	Rcv コマンド検知を受け取りました	←	PC へのコマンド rcv の送信確認
>CFM	コマンド完了の Rcv 確認	←	コマンドバッファをクリアして確認を送ります
>INP:AV1 Enter	再度 AV1 入力に切り換えるために、コマンドを送ります	→	ディスプレイはビジーでなく、コマンド受信可能です
>RCV	Rcv コマンド検知を受け取りました	←	PC へのコマンド rcv の送信確認
>CFM	コマンド完了の Rcv 確認	←	ディスプレイは AV1 に切り換えられ、確認を送ります
>	別のコマンドが送信可能です		ディスプレイは別のコマンドを受信可能です

コマンドおよびデータ表

説明	コマンド	データ
データ読み込み	REA	PWR, BRT, CON, CLR, TNT, SHP, INP, MUT, LNG, TMP, ZOM, FPL, POS, BLK, PLC, VPS, HPS, RCL, VOL, BAS, TRB, XBS, PAS, DSP, REA
電源オン/オフ	PWR	PON =電源オン、OFF =電源オフ
輝度	BRT	001…100
コントラスト	CON	001…100
カラー	CLR	001…100
色調	TNT	001…100
シャープネス	SHP	001…100
入力選択	INP	CP1 =コンポーネント、RG1 = RGB、HDM = HDMI1、HM2 = HDMI2
垂直位置	VPS	001…100
水平位置	HPS	001…100
リコール	RCL	000
ミュート	MUT	MON =ミュート、OFF =ノーマル
言語	LNG	ENG =英語、SPA =スペイン語、FFR =フランス語、ITA =イタリア語、DEU =ドイツ語、SWE =スウェーデン語
オールブラック	BLK	BON =オールブラック、OFF =リターン
Polycom モード	PLC	000
アスペクト比	ZOM	WID = 16:9、NOR=黒いバー付き 4:3、PAN=パノラマ（AV/S モードのみ）
キーパッドロック	FPL	FO1 =ロック、OFF =アンロック
色温度	TMP	MID =自然、HIG =冷色、65D =暖色
音量	VOL	001…100
低音	BAS	001…100
高音	TRB	001…100
バランス	BAL	001…100
X-Bass	XBS	XON = X-Bass オン、OFF= X-Bass オフ
デュアルオーディオ設定	PAS	SSS =シングルステレオ、DLS=デュアルレフト、DRS=デュアルライト
ディスプレイモデル名	DSP	INF (例：DSP: INF RCV CFM PME42MAW)
リターンモデル名	REA	INF (例：REA: INF RCV PME42MAW CFM)
電源オン時ソース	POS	OFF=標準（直前のメモリ）、CP1 =コンポーネント、RG1 = RGB、HDM = HDMI1、HM2 = HDMI2

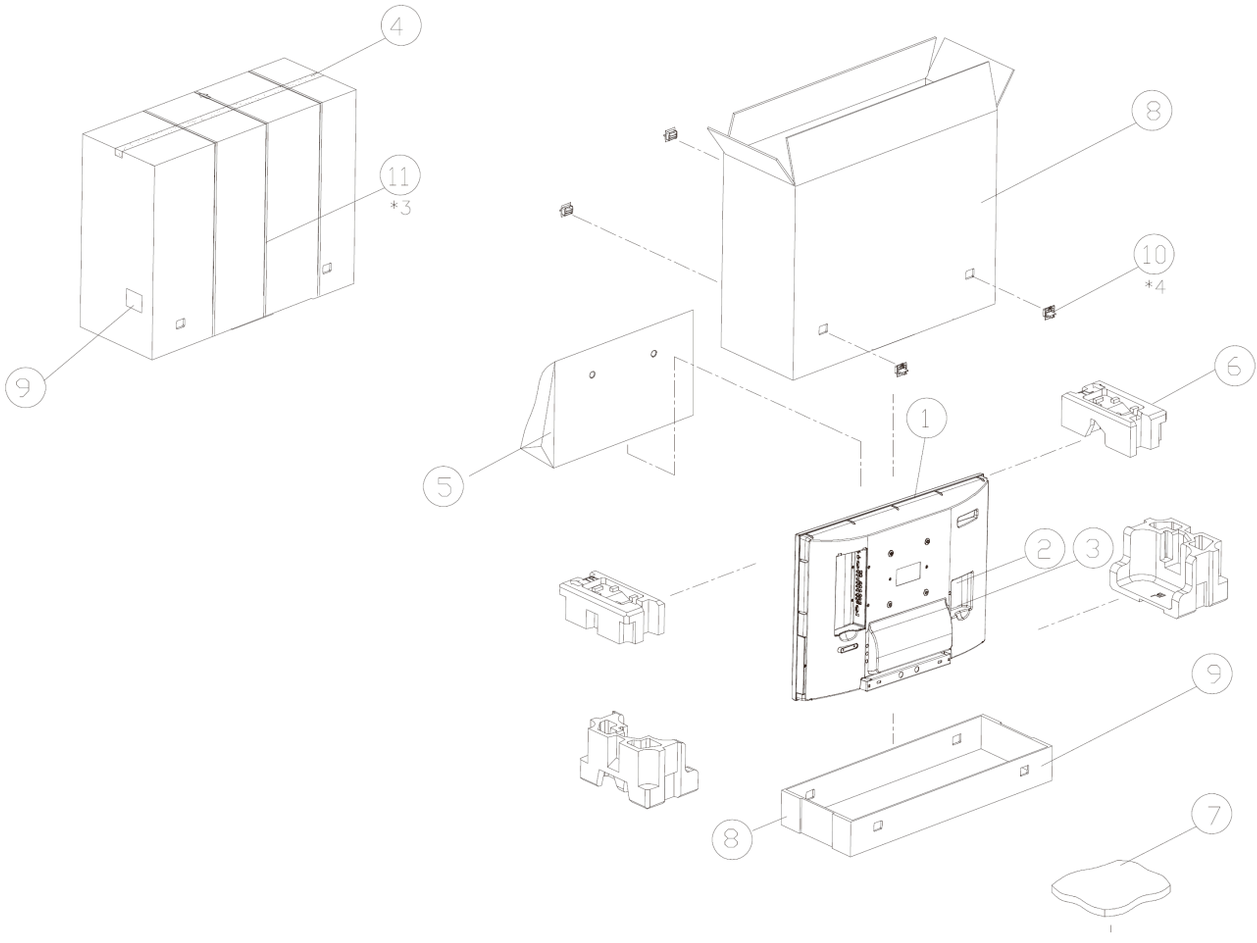
寸法図



カラースキーム

アイテム	カラースキーム
フロントベゼル	A170-5954
シルバーストリップ	A170-1868
キーパッドワード	Pantone 423C
ローゴー	レッド：Pantone 1795 ダークグレイ：Pantone Cool Gray 11 ライトグレイ：Pantone Cool Gray 9 Polycom 文字部：ホワイト

包装仕様図



PME42MAW 分解図(機械部品)				
アイテム	部品番号	説明	ユニット	注記
1	SET	PME42MAW	1	
2	TLABD1142Y1---A	シリアルラベル	1	
3	TLABM1708Y1----	モデルラベル	1	
4	SPAKA0917Y1F---	EPE	1	
5	SSAKH0202Y1---D	セットバッグ	1	
6	SPAKA0785Y1F---	発泡スチロール	1	
7	TINSE2220Y1----	ユーザマニュアル	1	アクセサリキット
	SSAKD0003Y1-T-B	データバッグ	1	アクセサリキット
	RBATB0226Y1DD--	電池	1	アクセサリキット
	YRC-294POLYCOMC	リモートコントローラ	1	アクセサリキット
8	SPAKC0909Y1R-AB	カートン	1	
9	TLABD2003Y1B---	バーコード	1	
10	JHNDP0020Y1----	ケースハンドル	4	
11	YTIE-P155Y1600	包装紙	3	